

昭和の森「親子田んぼ教室」

田んぼの草取り

萩 将勝(千葉市)

日 時：2023年6月24日(土) 9:30~12:00 天気：晴れ

参加者：18名(男2名、女7名、子ども9名)

担当指導員：武田、白波、萩、佐野、管理事務所1名

梅雨の中の晴れ間、蒸し暑い。ハンゲショウが色付き、ホタルノフクロが咲いている現場で今日の親子田んぼ教室の準備をして、受付を済ませ、注意点の説明を受けた、皆の来るのを待つ。

今回は全員で18名、ブルーシートに荷物を置き、田に入る準備をして、草取りの方法、なぜ草取りをするのか、取った後の草は丸めて足で土の中へ埋め込む、その効果などを説明した後、自分たちが植えた田に向かいます。

まずは、稲の生長具合を測定、田植えしてから2か月、高さ15cm、3~5本稲苗を植えたものが、高さは70~80cm、株の茎を数えると20~25本にも分けつが進み、良く育っている事を確認しました。

田に入っての草取りは、田に、あまり草はなく直ぐに完了しました。

汚れた手足を川の水で洗い、田の中に実際に生えていた草を採集して、その特徴を調べました。イ、ヒルムシロ、コナギ等、15数種類の草を確認しました。

いよいよ、子ども達待望の生き物調べです。大人も子どもも各々網を持ち田んぼ、水路、や池で生き物を探します。土手の上の容器に次々と生き物が入ります。

捕った生き物は、容器に入れ、それぞれの特徴を説明、最後に、今年6月1日より、アメリカザリガニが条件付き特定生物に指定された事、その内容を説明しました。

今日の感想を聞くと、以外にも、田の中に入っての草取りが楽しかったとのこと、非日常的なことがいかに喜ばれるか実感しました。



草取りの説明



田んぼに入って草取り